

～INDEX～

富士山憲章NEWS	1
Fuji-san charter News	
富士山レンジャー活動報告	4
Mt. Fuji Ranger Activity Report	
レンジャーコラム「下を向いて歩こう」	6
Ranger's Column "Walking with Eyes on the Earth"	
2025年 富士山夏山特集	7
2025 Mt. Fuji Summer Hiking Special	
富士山世界遺産センターだより 28号	9
Mt. Fuji World Heritage Newsletter - Issue No.28	

No. 147

2025.7 NEWS LETTER

富士山憲章

2025年 富士山夏山特集

現役レンジャー直伝！

富士登山を成功させる
6つの準備！



No. 147

2025.7

NEWS LETTER

富士山憲章

～INDEX～

富士山憲章NEWS

1

Fujisan charter News

富士山レンジャー活動報告

4

Mt.Fuji Ranger Activity Report

レンジャーコラム「下を向いて歩こう」

6

Ranger's Column "Walking with Eyes on the Earth"

2025年 富士山夏山特集

7

2025 Mt. Fuji Summer Hiking Special

富士山世界遺産センターだより 28号

9

Mt. Fuji World Heritage Newsletter - Issue No.28

令和7年度の定例会議を開催。
「富士山憲章」のさらなる取組一。



令和7年5月20日（火）山梨県立富士山世界遺産センター北館研修室において、「令和7年度富士山憲章山梨県推進会議幹事会」が開催されました。

富士山ボランティアセンターを運営している「富士山憲章山梨県推進会議」は、山梨県と富士北麓地域の7市町村（富士吉田市、西桂町、忍野村、山中湖村、富士河口湖町、鳴沢村、身延町）と2つの恩賜林組合（富士吉田市外二ヶ村恩賜県有財産保護組合、鳴沢・富士河口湖恩賜県有財産保護組合）で構成されており、平成10年に山梨・静岡両県で制定した「富士山憲章」の普及啓発や、富士山の環境保全と適正利用を推進する活動を行っています。

年に1度の幹事会では、前年度の活動内容の報告と、今年度の事業内容が話し合われ、多くの方々に「富士山憲章」を知ってもらい、富士山の保全活動に協力していただける取組を決定しました。

令和6年度 活動報告

ボランティアの方々や関係各所の皆様にたくさんのご参加をいただくとともに、新規イベントへの出展などを通じた「富士山憲章」の啓発と清掃活動を実施しました。



稜線に惹かれ、富士の峰をゆく一。



富士山エコトレッキング

「富士山エコトレッキング」は、富士山と富士北麓地域の自然・歴史・文化を学ぶトレッキングの後、清掃活動を行うイベントです。毎回定員を超える人気を誇り、応募数の多さから環境保全意識の高まりが感じられます。自然との共生の重要性を学び、未来に美しい富士山を残すための行動に繋がることが期待します。



第1回令和6年7月20日（土）

西湖・精進湖・本栖湖を一望する「三湖台」で涼やかトレッキング！さらに、夏でも涼しく神秘的な「竜宮洞穴」も体感。そして、トレッキング後は富岳風穴周辺の樹海遊歩道で清掃活動。国道沿いはゴミが多く、短時間で多くのゴミを回収できました。

第2回令和6年9月29日（日）

集合時には小雨がパラパラ…ではありましたが、タイミングを見計らって五合目へGO！荒天に備え、センターでの学習会も検討していたところでしたが、三合目を過ぎると雲の海が！晴天まではいきませんでした。自然解説員の楽しい話に耳を傾け、御中道コースの終盤では、雲の隙間から富士山の山頂もチラリ。清掃活動は、センター周辺の国道139号沿いで実施しました。

計2回の活動では、可燃ゴミ11.8kg、不燃ゴミ12.5kgを回収することができました。



富士山美化啓発キャンペーン 他

富士山美化啓発キャンペーンでは、小学生から高校生まで、学生の参加が増えています。登山客や観光客にゴミ袋を手渡し、ゴミの持ち帰りを呼びかけ、付近の清掃活動にも一生懸命取り組むボランティアの姿に、励ましの声を掛けてくださる方もいらっしゃいます。富士スバルラインのマイカー規制中の夏日に配布したゴミ袋は、全850枚でした。

また、10月には「ぐるり富士山風景街道一周清掃2024」の重点区間清掃活動に参加する形で「国道清掃キャンペーン」を実施し、11月には「富士山麓古タイヤ等不法投棄防止集中キャンペーン」を実施しました。



富士山を後世に末長く継承しよう

令和6年度 活動報告



まちフェス

10月には、富士山ボランティアセンターが所在する富士河口湖町で開催された「まちフェス」にブースを初出展！富士山憲章の啓発活動を行いました。

富士山ボランティアセンターのブースでは、「富士山憲章」の認知度アンケートや富士山レンジャーによるザック体験、富士山にまつわるクイズなどを行い、多くの来場者の皆様に楽しんでいただきました。

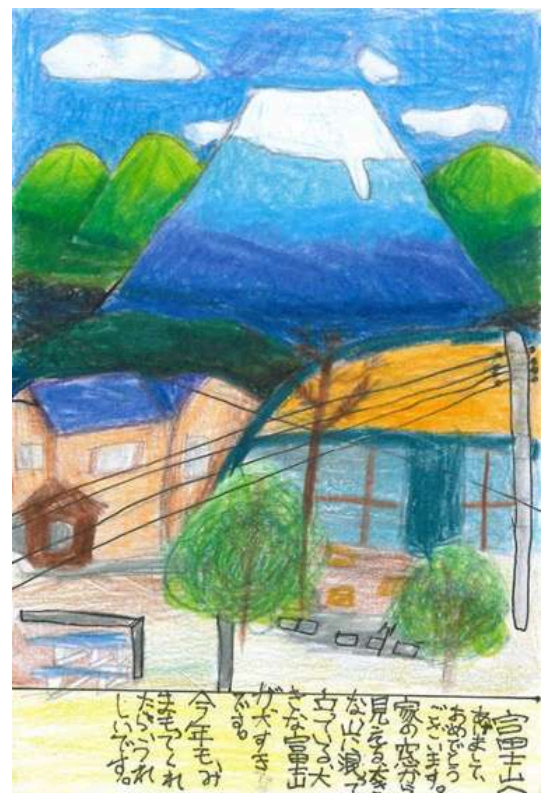
こうしたイベントを通じて地域が一体となり、富士山の自然、景観、文化・歴史が次世代に末永く継承されることに願います。



何と「カルチャくん」も駆け付けてくれました。

磯田 鈴美 様
(埼玉県／一般の部)

林 昀潔 様
(台湾／中学生・高校生の部)



第22回富士山へ謹賀新年～富士山あて年賀状～ 【最優秀賞】

皆さんからの「富士山愛」に満ちた「第22回富士山へ謹賀新年～富士山あて年賀状～」では、海外からの応募も増えています。入賞20点は富士山ボランティアセンターのHPでご覧いただけます。また、今回は高校生ボランティアの選出したオリジナル賞をInstagramで公開中です。入賞20点を含む入選200点は、県内外での巡回作品展で公開しておりますので是非ご覧ください（展示スペースをご提供くださった施設の方より、「巡回作品展をご覧いただくために来県する入賞者・入選者の方もいらっしゃる」と伺いました…！）。

TOPIK 03

富士山環境保全募金・寄付金 募集のお知らせ

富士山ボランティアセンターでは募金・寄付金のご協力をお願いしております。
ご協力いただいた募金・寄付金は、富士山の環境を保全する費用として大切に
活用させていただいております。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

※一万円以上をご寄付いただいた個人または団体には感謝状を贈呈いたしますので、予め富士山ボランティアセンターまでご連絡をお願いいたします。

※令和6年度にご協力いただいた募金・寄付金につきましては、富士山ボランティアセンターHPの「収支報告」に掲載しております。

皆様のご理解とご協力、誠にありがとうございます。



富士山環境保全募金 収支報告▶



▼ 募金箱を設置させていただいている施設様

ご理解とご協力、
いつもありがとうございます。
ございます。

山梨県富士山科学研究所
道の駅 富士吉田
ふじやまビール
三ツ峠グリーンセンター
富士湧水の里水族館
山中湖観光案内所
山中湖温泉 紅富士の湯
富士河口湖観光総合案内所
河口湖自然生活館
道の駅 なるさわ
道の駅 しもへ
みのふ ゆばの里
富士山ボランティアセンター

TOPIK 04

令和7年度 事業内容

インバウンドで富士山麓も活気にあふれています。そこで今年度は、人気のイベントである「富士山エコトレッキング」と、「富士山美化啓発キャンペーン」の開催数を増やすことといたしました。その他の事業内容につきましても、随時お知らせいたします！



富士山エコトレッキング

- ① 7月26日（土）
富士山五合目御中道コース
- ② 9月28日（日）
精進湖自然観察路（予定）
- ③ 10月11日（土）
吉田口遊歩道（予定）



富士山美化啓発
キャンペーン

- ・ 7月28日（月）～7月31日（木）
・ 8月1日・8日・15日・22日
※毎週金曜日





2/14

上級救命講習（富士五湖消防本部）

今回は、富士山レンジャーのインプットとアウトプットの両輪を少しだけご紹介します。まずはスキルアップのためのインプット。上級救命講習に毎年受講しています。レンジャーは「レスキュー」のお仕事はしませんが、いざという時「救命の輪」の一員となるべく、この訓練は定期的に必要であると確信しております。写真は三角巾でぐるぐる巻きの場面…真剣です！

インタープリテーション研修

2/20

関連法令法規の勉強会から、富士山の植生や溶岩流の観察会に至るまで、合計20回の研修を実施。最終会のテーマは「インタープリテーション」。レンジャーの主要業務はズバリ「富士山の環境保全」ですが、実際には「直接自然に働きかける」より、皆さん＝「ヒト」に呼びかける機会の方が遥かに多いのです。…みんなで富士山の自然を大切にしていきましょう、と。という訳で、やはり締め括りは、ニンゲン力・コミュニケーション力を養うことなのです！



Mt.Fuji Ranger *Activity Report*

2025.2～2025.6

富士山レンジャー 活動報告



4/29

まぜまぜフェスタ
（田原交流センター）

前年度に培ったスキルを、新年度の様々な交流活動で如何なく発揮！ この日は、富士山クイズ、レンジャー装備体験、噴火実験と内容盛りだくさん。用意したノベルティが全部なくなったところでちょうど終了時刻。参加者皆さんの笑顔が何よりのご褒美と思えた一日でした。



5/6

レンジャー女子会！
(モンベル御徒町店)



東京のモンベル御徒町店で開催された「レンジャー女子会」では、富士山頂上写真家の植田めぐみさんをお招きし、櫻井（♀）・藤間（♀）・若木（♂）の3レンジャーとのトークショーを行いました。富士山を巡回しながら見ていることや感じていることを植田さんと楽しくおしゃべりしました。植田さんのフォローさんを始め、多くのお客様にお越しいただきました。皆様の富士登山に少しでもお役に立てれば幸いです。

5/25

センターでの学習会 & ゴミ拾い体験

法政大学と関西大学の学生さん達が来てくれました。講義の後半はグループに分かれてのディスカッション形式。富士山の環境保全のための新しいアイデアや標語を考えてもらいました。レンジャーが思いもつかない斬新な発想が頼もしい！富士山の環境保全を願う気持ちが世界中に届くよう、レンジャーも努めて参ります。学習会の後は、センターの周りで清掃活動体験。皆さん積極的にゴミを拾ってくれました。一人ではなかなかしづらいゴミ拾いも、みんなで一緒にすれば楽しいイベント。ゴミを拾う人の輪が広がっていけば、ゴミを捨てる人は減っていくとレンジャーは信じています！



Editor
Mt.fuji Ranger
Wakagi

下を向いて歩こう

― ブナとの再会と思いがけない発見 ―

春先は芽生えの季節です。足下にはたくさんさんの発芽が見られ、親の木とそっくりな小さな葉っぱのかわいいこと。

でもときには、これは誰？と考えてしまうような新芽に出会うことも。周囲を見回してもいろんな樹木があり、落葉から推測しようとしても、いろいろ混じっていて分かりません。

たびたび訪れて成長を観察すればいいのですが、うっかりしてまた次の年に同じ芽生えを見つけ、しまった！成長を確認するのを忘れた！と残念に思うことも。

いまでこそ写真を撮ればあつという間に教えてくれますが、当時は植物図鑑が頼りです。しかも芽生えを扱っているような本もなく、そうこうするうちに忘れてしまっていました。

あるときブナ林に行くことを思い立ちました。ブナは前年の枯れた葉を、新しい葉が出てくるまで枝に残し、新緑のタイミングでいっせいに落とします。新しい葉の誕生を見届けてから場所を譲るようにいっせいに落葉する…その様子から、子孫繁栄、縁起の良い木といわれます。

その場面にいくわすと、まるで雨が降ってきたかのように、サザーンと聞こえるとも。せび、その音を聞いてみたくなったのです。

けっこんな斜面をうつむいて登り、ようやくブナ林にたどり着いたそのとき、足下にあの芽生えを見つけて、息をのみました。長年わからなかった芽生えは、ブナだったのです。周りはブナばかり…間違えようがありません。

大木のはじまりを確認できたことが嬉しくて、当初の目的であったはずの、譲りの雨音は聞かずじまいでした。

下を向く…というとなんとなく消極的で後ろ向きに聞こえますが、上を向いているときには気付かない思いがけない発見があります。なんの変哲もないと思う道端にこそ、よく見ると小さな発見がたくさんあるのです。ときには、下を向いて歩きましょう！

今朝も下を向きながら歩いていると、小さなアリが道路一面に散ったネジキの白い花を、一心に運んでいました。食料なのか裝飾なのか！地下に広がるであろう彼らの巣を想像して、とても豊かな気持ちになりました。



▲ ブナの芽生え



Editor
Mt.fuji Ranger
Fujima

2025年

富士山夏山特集



夏です！富士登山の季節です！今年こそ、富士山に登ってみたい方はいませんか？

富士山レンジャーによる登山解説を参考に、ぜひ富士登山へ挑戦してみましょう！

2024年及び2025年に実施される富士山の「登山規制」についてもご紹介します。

富士山レンジャーが
レクチャーします！

富士山の登山規制 = 何が行われた？ どう変わる？

2024年、富士山に登山道規制が初めて導入されました。
富士山レンジャーが常に巡回・啓発活動を行っている「吉田口登山道」で試験的に実施されました。
目的は毎年問題となる「弾丸登山」や「混雑」の抑制です。
2024年度に実施された規制内容、2025年度に実施される規制内容は以下のとおりです。



富士山登山規制【2024年度】

- ✔ ゲート閉鎖時間の設定：五合目に設置されたゲートを、午後4時から翌朝3時まで閉鎖。
- ✔ 登山者数の上限設定：1日の登山者が4,000人を超えた場合もゲート閉鎖。
- ✔ 通行料の導入：任意の協力金1,000円に加え、すべての登山者に2,000円の通行料を徴収。
ただし、山小屋に事前予約がある方はこれらの規制の対象外。
- 導入の効果
 - ・登山者が4,000人を超えた日はなし。吉田口登山者数は前年比17%減少(13.7万人→11.5万人)
 - ・夜間登山者(多くは弾丸登山者)が95%減少(14,000人→708人)
- ✎ 残された問題
 - ・午後4時直前に登山を始めようとする弾丸登山グループが集中した。
 - ・休憩なしで山小屋前のベンチを占領したり、寒さから焚き火を始めたり、低体温症で動けなくなるケースも。
- 🚑 対応策
 - 「宿泊して登る」「五合目で休んで翌朝出発」など、代替案を提示して説得を試みるも、やる気(?)にあふれる登山者を止めるのは容易ではなく、悩ましい状況だった。

富士山登山規制【2025年度】

2024年の課題を受け、2025年度の規制は以下のように見直された。

- ✔ ゲート閉鎖時間の前倒し：午後2時に閉門(閉門は前年同様午前3時)。これにより弾丸登山の抑止を狙う。
- ✔ 人数制限の継続：登山者が4,000人を超えた場合はゲート閉鎖(山小屋予約者は通行可)。
- ✔ 料金体系の変更：任意協力金(1,000円)を廃止し、すべての登山者から4,000円の通行料を徴収。

通行料の用途

富士山の環境保全、登山者の安全確保(臨時トイレ設置、巡回指導、災害対応等)外国人対応(通訳など)、ゲートや安全指導センターの運営支援

本年度もレンジャーは
五合目管理センター前で
登山者の案内や
指導にあたります。

すべての人が安全に
富士登山を楽しめるよう、
全力でサポートして
まいります。



LET'S

CHECK
IT!

現役レンジャー直伝！

富士登山を成功させる
6つの準備！

富士登山の第一歩は「準備」から！

登る前におさえておきたい6つのポイントを現役レンジャーがご紹介します。

これらのポイントを押さえて、富士登山を安全かつ楽しいものにしてください。

00 準備について

「富士山に登ろう！」と決めたら、富士登山を安全かつ快適に楽しむために事前の情報収集と準備をしましょう。「富士登山オフィシャルサイト」などで基本的な富士登山の知識と最新情報を確認し、しっかりと計画を立ててください。押さえるポイントは次の6つです。

～押さえるポイント～

- ① 日程
- ② どのルートに登るか
- ③ どんなスケジュールで登るか
- ④ 何を着ていくか
- ⑤ 何を持って行くか
- ⑥ 何を持って行かないか

01 日程

予報と違ってしまったりすることもあります。天気予報を見て天気が良さそうな日を選びます。どうせ登るなら天気の良い日に登りたいですね？
思い通りに行かないのがお天気、特に富士山の天気は変わりやすいので、半分くらいは運もありますが……。だからこそ、天候が急に悪化することもあることをしっかりと準備が必要です。また、登山前に最新の天気予報を確認することで、より安全な登山を心がけましょう。

02 どのルートに登るか

富士山には4つの登山道（吉田・須走・御殿場・富士宮）があり、各ルートにそれぞれ特徴があります。目的や体力等に応じ、よく調べて決定をしてください。毎年1ヶ所ずつ登る、というのもありです。
ときどき五合目で「自分がどのルートに登ろうとしているのかわからない」という人に会います。誰かに連れて行ってもらった場合であっても、自分が登る登山口くらいは知っておきましょう。

03 どんなスケジュールで登るか

ゆとりある登山計画を立て、途中で1泊するのが理想的です。
山小屋は予約制のため「富士登山オフィシャルサイト」で必ず予約してください。個人予約が取りづらい場合、宿泊や装備を含むツアー利用も有効な選択肢です。
また、最近は2泊して登る、という人やツアーも見かけます。山頂に行く前に1泊、山頂から下りで1泊という日程です。1泊の場合、一般的には1日目に山小屋へ着き、2日目に山頂に行くというケースが多いですが、1日目に山頂へ到着後、帰りに山小屋で1泊というスケジュールも良いです。早朝から登って昼頃に山頂へ到着し、夕方に下山する日程は健脚の人向けです（膝などに非常に負担が掛かりますので…）。

04 何を着ていくか

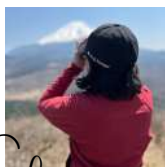
登山始めは「少し涼しいかな？」くらいの薄着で、上着やレインウエアは必要になったときにすぐ取り出せるところにしておきましょう。
なお、濡れてしまったときに乾きにくい綿などの素材はNGです。重い服も身体に負担がかかるのでNGです。軽くて乾きやすいものを選びましょう。また、ストレッチ性の高いものが動きやすく、ストレスを感じませんのでオススメです。

05 何を持って行くか

防寒着は、厚手の物を1枚持って行くよりも、薄手のフリースや薄手のダウンジャケットなどを2～4枚持つのが良いと思います。暗いうちに行動する場合はズボンの下にもスパッツやタイツなどを履くとよいです。他にもフリースのキャップや軍手、雨の場合は防水の手袋があると良いでしょう。
水は、山小屋に到着するまでの分として500mlサイズを1～2本。あとは山小屋で購入するのが良いです。値段は麓で買うより2倍、3倍しますが、体力をセーブできるのでオススメです。カロリーの高いナッツやチョコレート、ゼリー飲料なども良いですが、食べられる分だけ。必要最低限の荷物になるようにしましょう。

06 何を持って行かないか

- ・ **1Lや2Lサイズの飲み物**は持って行かないようにしましょう。山小屋で調達しない人は、500mlサイズを3～4本だけにして、バランス良くザックに入れましょう。
- ・ たまに見かけますが、**外履用サンダル**は不要です（山小屋にあります）。
- ・ **登山用の座布団**も富士山には不要です。風で飛ばされたりすることが多いし、富士山に腰掛けるところは沢山あります。
- ・ 女性のグループで**お菓子**などを大量に持って行く人がいますが、減らした方が良いです。食べる時間もないし、そんなに食べられないです。板チョコ1枚とミックスナッツ1袋くらいが適当です。飲料水と同様、足りなかったら山小屋で買いましょう。



Editor
Mt. Fuji Ranger
Sakurai

Sakurai

富士山登頂を目指す方は必ずCHECK！

安全で楽しい登山のために、登山計画、ルート選びや装備の確認など、富士登山に必要な最新情報を掲載している「富士登山オフィシャルサイト」を事前にしっかりチェックしておきましょう。



富士登山オフィシャルサイト

富士登山オフィシャルサイトURL
<https://www.env.go.jp/park/fujihakone/topics/130626a.html>



はじめに：二つの顔持つ富士山

富士山は2013年に「富士山 信仰の対象と芸術の源泉」として世界文化遺産に登録されました。その一方で、溶岩洞穴や森林といった自然が残る場所でもあります。つまり、富士山は「歴史・文化的に価値がある山」と「自然が豊かな山」という二つの側面を持つ山といえます。

観光地としての富士山の歴史を考えると、過去に出版された観光案内（ガイドブック）が強力な手がかりになります。観光案内で富士山が紹介される際、歴史・文化と自然のどちらに説明の力点が置かれたのかは、興味深い問題です。

今回は、富士山麓の諏訪森という森林を通して、この問題を検討します。



図1 諏訪の森自然公園

1 諏訪森の歴史・文化と自然

諏訪森は、北口本宮富士浅間神社の南側に広がる森で、現在その一部は「諏訪の森自然公園（富士パインズパーク）」として富士吉田市民の憩いの森になっています（図1）。

歴史的に考えると「諏訪森」の名前は、北口本宮富士浅間神社の境内にある諏訪神社に由来します。諏訪神社は浅間神社より先に成立したと考えられています。また、森の中にある大塚丘（おつかやま）は江戸時代の段階で日本武尊が富士山を遥拝したという伝説があり、吉田口登山道を通して富士山頂を目指す参詣者が立ち寄る場所でもありました。

自然としてみると、諏訪森は樹齢100～250年のアカマツが生育する森林として評価されています。諏訪森の一部は国有林ですが、林野庁は「諏訪森アカマツ希少個体群保護林」として保護・管理を行っています。

つまり、諏訪森は、歴史・文化的にも自然としても重要な場所といえます。

2 「富士北麓五湖の紅葉」（1926年） 歴史的な名所を紹介

諏訪森が観光地として紹介される際、歴史・文化と自然のどちらが強調されたのでしょうか？今回は1925年～1930年の間に出版された3点の観光案内を取り上げ、諏訪森についての記述を比較してみます。

まず、大月―富士吉田間を電車で結んでいた富士電気軌道株式会社が刊行した「富士北麓五湖の紅葉」（1926年刊、図2）を見てみましょう。

3つ折りのパンフレットで、ガイドマップとともに富士山についての観光案内が掲載されています。諏訪森については、「**諏訪ノ森 富士浅間神社の背後登山道に沿ひ日本武尊の古跡大塚丘あり**」と簡潔に述べられています。大塚丘の説明をする一方で、諏訪森のアカマツ林としての側面には触れていません。歴史・文化に重点を置いた紹介といえます。

諏訪森はどう紹介されてきたのか？
（百年前の観光案内から考える）



図2 「富士北麓五湖の紅葉」



筆者：学芸員 千原鴻志

富士山世界遺産センター

だより28号

3 『富士山の自然界』（1925年）

アカマツ林の「森林美」

次に、「富士北麓五湖の紅葉」とほぼ同時期に出版された山梨県『富士山の自然界』（山梨県、1925年）を紹介します。「吉田口登山道」の章では諏訪森を以下のように説明しています（図3）。

「大塚に登りて山頂を遥拝しては千八百年前の武尊の御心情を拝付すべく、更に目を近景に放つときは一大樹林の横はるを見るであらう。是は有名なる赤松の模範林で、所謂（いわゆる）諏訪の森御料林である。其の老幹龍の如く、矗（ちく）として天を摩し、鬱（うつ）として翠（みどり）を含む森林美は、人目を驚かすであらう。登山道は其一部を分け入るのである」（95頁）

大塚丘から富士山を遥拝した際に見える 諏訪森を「赤松の模範林」として評価し、その「森林美」を紹介しています。「森林美」を構成する要素として、（1）老木の幹が竜のように見える、（2）高木が天にそびえたつ、（3）鬱蒼としていて緑色を含む、という3点を挙げています。『富士山の自然界』の「はしがき」では、「旧来の文書中に未だ掲げられない幾多の珍奇な火山現象や天然景観などを主として世に紹介」することを謳っています。諏訪森についても、「天然景観」の紹介という執筆方針に沿って、アカマツ林の美しさが強調されています。一方、信仰の対象である大塚丘にも触れており、諏訪森の歴史・文化と自然の両面を伝えているといえます。

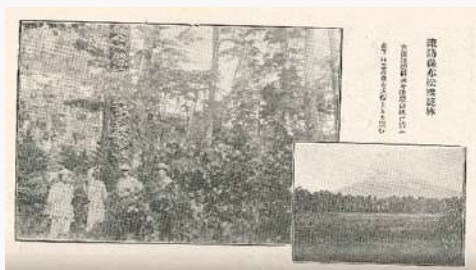


図3 「諏訪森赤松模範林」（『富士山の自然界』）

4 『日本案内記』（1930年）

ツタの紅葉を評価

最後の紹介は、『富士山の自然界』の5年後に出版された鉄道省編『日本案内記 関東篇』（鉄道省、1930年、以下『日本案内記』）の「諏訪の森」の項です。

「【諏訪の森】

①富士浅間神社の境内に接する赤松の単純林で、②富士登山道の両側に群立し、樹幹に蔦（つた）が点綴（てんせつ）し、③紅葉期には翠緑の間に真紅を彩り、極めて美観を呈する。」（262頁）

諏訪森を①「赤松の単純林」で、②吉田口登山道沿いにあるとしている点は『富士山の自然界』と同様ですが、③アカマツの幹に絡みついているツタ（「蔦」）に言及している点が注目されます。秋になるとツタが真紅に紅葉し、常緑樹であるアカマツの葉の「翠緑」との組み合わせが美しいというのです（図4）。

『富士山の自然界』では常緑樹のアカマツの美しさを抽象的に表現していましたが、『日本案内記』になるとツタの紅葉に触れることで、より分かりやすく諏訪森の美しさが紹介されているといえます。

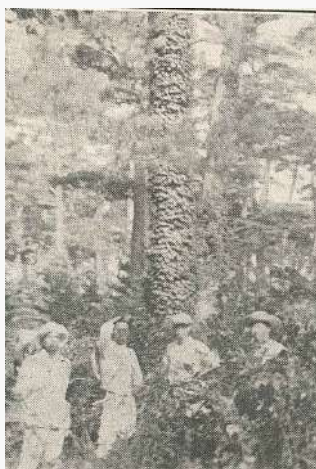


図4

『富士山の自然界』に掲載された諏訪森の写真（図3の一部を拡大）。中央にあるアカマツの木にツタがびっしりと絡みついている。

5 『日本案内記』における天然記念物調査の影響

実は『日本案内記』の諏訪森の説明には元となったものがあると考えられます。以下に掲げる、山梨県編『史蹟名勝天然記念物調査報告』第2輯（山梨県、1926年、以下『調査報告』）の諏訪森の説明です。

「諏訪の森 所在地南都留郡福地村

①赤松の単純林にして富士浅間神社の境内に接し、樹齢三百年を経たる喬松鬱蒼参差として面積四十六町八反二畝歩、②富士北口登山道の両側をかこみて群立す、③樹幹に年古りし蔦の点綴するありて紅葉の季節に至れば翠緑の間に真紅を彩り其配合頗る艶麗なりといふ。」（11頁）

『調査報告』（1926年）と『日本案内記』（1930年）の①～③を比較すると、内容・表現ともに酷似しており、後者が前者をもとに書かれたのは明らかです。『調査報告』は山梨県が1920年代に実施した名勝・天然記念物の調査研究の報告書ですので、『日本案内記』の諏訪森の紹介は当時の最新の研究成果を反映されていたといえます。

おわりに

分けて語られてきた歴史・文化と自然を結びつける調査研究の可能性

諏訪森は歴史・文化や自然の面から重要な場所ですが、両面が切り離して語られることもありました。今回の紹介例でいうと、『富士山の自然界』（1925年）では大塚丘とアカマツ林を紹介していましたが、「富士北麓五湖の紅葉」（1926年）では前者のみ、『日本案内記』（1930年）では後者のみ紹介されておりました。

一方、『日本案内記』は『調査報告』（1926年）の影響を受けており、調査研究が観光案内の内容を規定した事例といえます。今後は、富士北面の人々が諏訪森のアカマツ林と関わってきた歴史の調査研究を進め、諏訪森の歴史・文化と自然を一体化した観光案内の創出を目指したいと考えております。

6月22日は…

世界遺産登録の記念日

今年の6月22日は12回目の世界文化遺産登録の記念日となりました。

今年も6月22日に向けて様々なイベントを行いました。



世界遺産登録の日

クイズラリー

開催期間 6月18日(水)～6月22日(日)

開催場所 山梨県富士山科学研究所、山梨県立富士山世界遺産センター

参加方法
①どちらかの施設に行き、クイズの解着前額を受け取る
②クイズの答えをそれぞれ見つけてクイズにチャレンジする
③クイズに答えたら解着前額にスタンプを押してもらう
④スタンプを2つ集めてどちらかの施設に解着前額を提出する
⇒ **オリジナルグッズをプレゼント!**

注意事項
・小学生以下が対象です
・施設名と字を明記、クイズにチャレンジする順番は自由です
・オリジナルグッズは数量限定です



クイズラリー

6月18日から22日までの5日間、山梨県富士山科学研究所と山梨県立富士山世界遺産センターの2つの施設でクイズにチャレンジしてもらいました。両施設のスタンプを用紙に押してもらい、期間中に用紙を持参したみなさんに先着で記念品をお渡ししました。

昨年度と同様、今年もたくさんの方に参加していただきました。小さいお子様のいるご家族、小中学生の皆さん、一般の方まで幅広い年齢の方々に参加していただき、スタッフ一同嬉しく思っています。

今回の企画を逃してしまった方や次回は参加したいという方、同様のイベントを11月20日（県民の日）と2月23日（富士山の日）にも計画しています。日程が近くなりましたお知らせしますのでご確認ください。



「富士山世界遺産ガイド」が館内を案内するガイドツアーを当センター南館で行いました。多くの方にご参加いただき、「解説してもらって、より富士山について理解を深めることができた。」「世界遺産となった根拠を知ることができた。」「とても有意義な時間となった。また利用したい。」など、多くの感想をいただきました。好評につき、11月20日（県民の日）と2月23日（富士山の日）にも行います。是非ご利用ください。

館内ガイドツアー



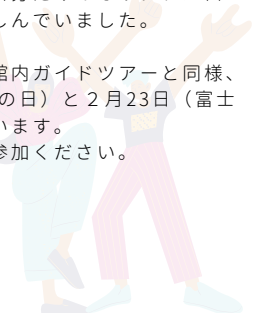
缶バッジづくり

当センター南館内での缶バッジづくりは毎年行っている企画です。

思い思いに富士山に色をつけたり、自分の好きな言葉を入れたり…いろんな缶バッジを作ることができます。

参加者の方々は自分だけのオリジナル缶バッジを作って楽しんでいました。

クイズラリーや館内ガイドツアーと同様、11月20日（県民の日）と2月23日（富士山の日）にも行います。こちらも是非ご参加ください。



小さな一掴みが、

私と富士山の
未来を変えた。



Home page



Instagram



Follow
us♡

〒401-0301
山梨県南都留郡富士河口湖町船津6663-1
山梨県立富士山世界遺産センター北館内
TEL 0555-20-9229
FAX 0555-72-4114
MAIL fujisan@eps4.comlink.ne.jp

Change yourself,
with us.

美しい富士山を末長く後世に引き継いでいくために、富士山憲章の普及・定着を図る活動を行うとともに、環境保全に向けて積極的に行動いただけるような取り組みを進めていきます。ボランティアを始めてみたい方、継続しているいろいろなボランティアをしたい方など、どなたでも参加できます。お気軽にご応募ください。

富士山レンジャー

募集中

永遠

に変わらぬ
景色のため

今

の自分を
変えるとき

Change now
for eternity

詳しくはお尋ねください！

▼募集要項は
ホームページで！

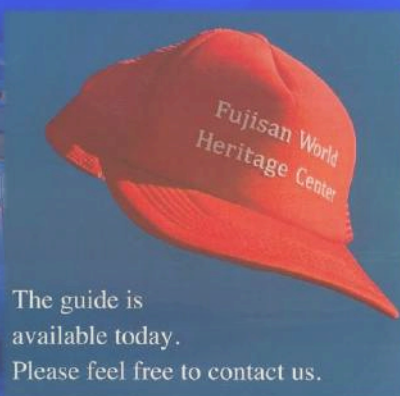


さあ、そのあなた…。

富士山レンジャーになってみませんか？

募集中

世界遺産“富士山”の公式ガイドは、
世界に58人しかいない



世界遺産富士山
ガイド

要項配布中

- ・富士吉田市役所
- ・富士河口湖町役場
- ・忍野村役場
- ・山中湖村役場
- ・富士山世界遺産センター

富士山世界遺産センターには、南館内の解説・案内を行うボランティアガイドがいます。毎年新規のガイドを募集及び養成して、現在は58名のガイドが活動をしています。今年度も新規でガイドを募集する時期になりました。富士山に興味がある方、富士山が好きな方、富士山の魅力について発信したい方、ガイドとしての活動に興味がある方、是非手を上げてみてください。 ※ 詳細は当センターのホームページをご覧ください。

富士山世界遺産ガイド 募集

<https://www.fujisan-whc.jp/osirase/r05nendo/2025gaido.html>

■編集・発行

富士山ボランティアセンター（富士山憲章山梨県推進会議）
〒401-0301 山梨県南都留郡富士河口湖町船津6663-1（富士山世界遺産センター北館内）
TEL: 0555-20-9229 FAX: 0555-72-4114 E-MAIL: fujiisan@eps4.comlink.ne.jp

©2025 富士山憲章山梨県推進会議 All rights Reserved.

富士山憲章（行動規範）

- 一 富士山の自然を学び、親しみ、豊かな恵みに感謝しよう。
- 一 富士山の美しい自然を大切に守り、豊かな文化を育もう。
- 一 富士山の自然環境への負荷を減らし、人との共生を図ろう。
- 一 富士山の環境保全のために、一人ひとりが積極的に行動しよう。
- 一 富士山の自然、景観、歴史・文化を後世に末長く継承しよう。

平成10年11月18日 山梨県・静岡県



富士山憲章は、富士山の自然環境等の保全の理念や環境保全のための行動規範を示すことにより、富士山の環境保全への協力を訴え、国民的な規模で保全運動の展開を図っていくことを目的としています。

本誌のバックナンバーは右記QRコード又は下記URLよりダウンロードできます 
<https://www.yamanashi-kankou.jp/volunteer/%20newsletter/index.html>

